### 山東幼稚園

日時: 平成 18 年 1 0月 2 3日(月) 13:00~17:00

平成 18 年 1 1月 2日(木) 9:00~17:00

場所:米原市池下91

山東幼稚園は「グリーンパーク山東」の一画にあり、三島池を始め、森や芝生公 園など自然に恵まれた幼稚園です。三島池にはたくさんのカモがいます。三島池と 周りの自然を活かしたプログラムができました。

#### 「ひろって、あつめて、大変身!」のプログラム

落ち葉拾いのゲームをしながら、動物さんたちに落ち葉の布団をかけてあげます。



けてきたよ

ムシやテントウムシなどがいるんだ。 葉っぱはやが て土になっていくんだよ。

#### 「木となかよし」のプログラム

林の中にある様々な木を触ったり、大きさや高さを感じたりします。最後には全員で大 きな輪を作ります。みんなでたくさんの木を囲み、見上げることで、木も自分達と同じよ うに支えあって生きていることに気づきます。



#### 「おしゃれなかもさん」のプログラム

三島池にはたくさんのカモがいます。いろんな種類のカモを観察し、模造紙に描いたカモに様々な色の葉っぱで服(羽)を着せます。三島池ならではのプログラムです。

あっ、足あるで

頭の色は はいろい ろや



緑やら茶色 やらいろい ろあったで





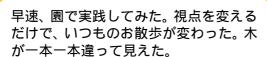
頭は緑やったっ





いろいろなカモができました。カモもいろんな色があるように、葉っぱもいろんな色があることがわかりました。カモが完成した後、葉っぱはもとの場所に返しました。

# 参加された先生の



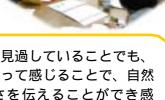
子どもっていいなーと改めて感じた。自 分の園の子どもが浮かんだ。自分の保育 をふりかえると、自然を活かす保育がで きていなかったと感じた。

木が1本あるだけで、子どもたちの言葉が増え、いろんなあそびができることに 気づかされた。



プログラム作り この場所でどんなことを したらおもしろいか、どん なメッセージが伝えられる かを考えます。

下見 葉っぱを匂った り、味見をしたり 五感をいっぱい使 います。



普段あたりまえだと見過していることでも、 立ち止まり五感を使って感じることで、自然 の神秘さや不思議さを伝えることができ感 性を育むことができると気づいた。この研修 を今後の保育につなげていきたいと思う。

## **\$Q&A >**

(解答:講師 環境レイカーズ代表 島川武治(しまっち))

- Q:自然体験を通じて命の尊さを伝えていきたいが、どうすればわかりやすく子ども たちに伝えることができるでしょう?
- A:「命」のことは大切なことですので、機会があるごとに伝えていくことです。子どもたちは「死」の痛みがわかっていませんし、「生き返る」と思っている子どもたちもいます。例えば、「生きる」ということはどういうことか考えます。動く、笑う、温かみがある、友だちとおしゃべりする、おいしいものを食べるなどです。「死ぬ」ということはそれらのことが全部できなくなるということです。そうした身近な問いかけを重ねることで、少しずつ「命」について理解を深めてくれるのではないかと思います。